

	<h2>69. スキー章</h2>	★ 考査員認定	
---	-------------------	---------	--

考査細目	考査方法	考査のポイント
(1) スキー用具、服装について、手入れや保存法の注意点をあげ、説明できること。	口述および実演	・できるだけ実演させる。
(2) スキーのエチケット、マナー及び安全対策について説明でき、次の事項が実演できること。 ア 凍傷、捻挫、骨折の応急手当て イ 雪上における負傷者の運搬(救急そりの作り方を含む)	口述 実演	・ エチケット: 装備点検、健康管理、移動中の車中、スキー場、宿舎 安全対策: スキーヤー自身、スキー指導者、スキー場の施設と管理、交通機関
(3) 次の種目を実演できること。 ア ブルークボーゲン(20m×100m平滑な中斜面) イ シュテム・ターン(20m×100m平滑な中斜面) ウ パラレル・ターン(40m×100m平滑な中斜面) エ 総合滑降(50m×200m不整地を含む中斜面)	実演	—

※ 公益財団法人全日本スキー連盟主催のスキーバジジテストの2級以上に合格している者は、前記(3)の細目は合格とする。